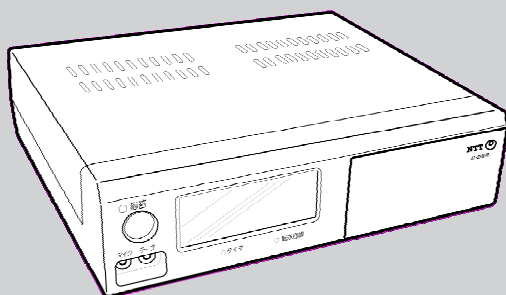




音声応答転送装置 AT-230IVR 取扱説明書



このたびはAT-230IVRをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。
お読みになったあとも大切に保存していただき、必要なお役立てください。

安全にお使いいただくために	2
セットを確認してください	4
システム概要	5
応答モード	5
転送の方式	8
年間タイマーについて	10
お使いになるまでの手順	11
各部の名前とはたらき	12
設置工事	14
回線と電源の接続	15
外部機器の接続	15
データ入力ソフトを利用する	18
準備	18
ソフトを最初に起動する	20
操作方法	22
ソフトの削除	25
時計を合わせる	26
本装置によるメッセージの録音	28
録音の準備	28
録音のしかた	29
メッセージの再生	30
日常の運用	32
年間タイマーによる自動運用	32
マニュアル運用	34
履歴データを見る	36
ご参考	38
故障とお考えになる前に	42
仕様	43

安全にお使いいただくために

ご使用前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。


お願い


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。


ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。


警告 ご使用にあたって


 本装置がぬれたり、水が入らないようご注意ください。また、ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災・感電・故障の原因になります。


 本装置のケースをはずしたり、改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。内部の点検・清掃・修理は、当社のサービス担当にご依頼ください。


 本装置の通風口などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。万一、異物が入ったときは、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス担当にご連絡ください。

警告 電源について


 AC100Vの電源コンセント以外には、絶対に接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。


 ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

 電源アダプタは大切に扱ってください。コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加工や加熱したり、傷つけたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。コードが傷んだ場合は、当社のサービス担当にご連絡ください。


 電源アダプタは添付のもの以外は使用しないでください。火災・感電の原因になります。

警告 設置場所や環境について 設置にあたって


 本装置のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス担当にご連絡ください。


 ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下してけがの原因になります。


警告 設置場所や環境について
設置にあたって


 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

警告 こんなときは（対処のしかた）


 動作が異常、音が出ないなど故障状態のまま使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

 煙が出ている、変な臭いがするなど異常状態のまま使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなることを確認して当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。


 内部に水が入った場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。


 本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、使用しないでください。
すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス担当に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。


注意 使用方法・設置環境について

 直射日光の当たる場所や温度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因になります。


注意 使用方法・設置環境について


 密閉したところに置かないでください。また、テーブルクロスや座布団などで通風口をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。


 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になることがあります。


 近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いて、ご使用を控えてください。
雷によっては、火災・感電の原因になることがあります。

STOP お願い 使用方法・設置環境について

 落としたり強い衝撃を加えないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

 ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。
汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でカラダぎをしてください。

 極端に寒いところ、ちりやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

 テレビ・ラジオ・こたつ・アンプ・スピーカーボックス・電気カーペットの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。
機器の破損・故障の原因になることがあります。

- 本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
- 本機の仕様は国内向けになっていますので、規格の異なる海外でご利用いただくことはできません。
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.
- 正常な使用状態で本機に故障が生じた場合、当社は本機の保証書に定められた条件に従って修理いたします。ただし、本機の故障・誤動作または不具合により、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもとになりますので絶対におやめください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 共同電話、公衆電話、地域集団電話ではご使用になれません。
- WindowsはMicrosoft Corporationの、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。また、社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

セットを確認してください

次のものがそろっていることをお確かめください。万一、セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁・乱丁があったときには、当社のサービス取扱所またはお買いあげになった販売店へご連絡ください。

■本体

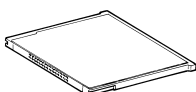


本体

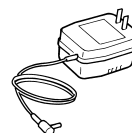
■付属品



CWA-100



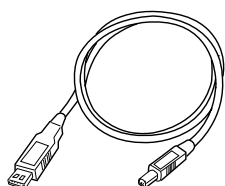
メモリーカード
型番：AT-2301VRカード E-FC 〈30M〉



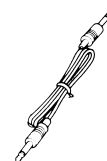
電源アダプタ



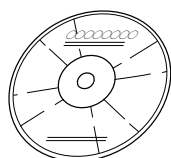
モジュラーコード (3本)



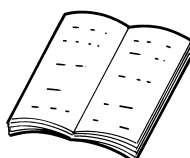
USBケーブル



録音用コード



データ入カソフト CD-ROM



取扱説明書一式

システム概要

応答モード

本装置は、次の4つの応答モードを持っています。

1. 選択転送モード
2. ツリー転送モード
3. 転送専用モード
4. 応答専用モード

ワンポイント


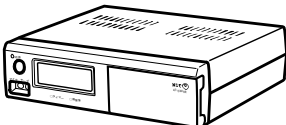

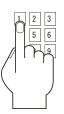


- データ入力ソフトで設定していないメモリーカードを入れると、応答専用モードで応答します。

1. 選択転送モード

電話をかけてきた方に、目的の転送先を呼び出すためにダイヤルする番号を案内します。ダイヤルされたプッシュホン信号に応じた転送先に接続します。

電話をかけてきた方がプッシュホン信号を送ることができないなどの理由でプッシュホン信号が受信できなかった場合、特定の転送先に転送することができます。

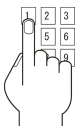
メッセージや転送先を変えて最大5つのパターンを作ることができます。

電話をかけてきた方	本装置	転送先
1 本装置に電話をかける。 		
 <p>はい、こちらは〇〇でございます。 係におつなぎしますので、音声案内に従いプッシュ信号でお選びください。</p> <p>総務課は1番 経理課は2番 ……</p>	2 「挨拶」「総合案内」メッセージを流す。 ・挨拶メッセージ；メッセージ番号1 ・総合案内メッセージ；メッセージ番号3 3 転送先案内用メッセージを流す。 ・転送案内メッセージ；メッセージ番号11～15	
4 案内に従い、転送先をプッシュホン信号でダイヤルする。  <p>担当者におつなぎします</p>	5 転送することを案内するメッセージを流す。 ・呼出メッセージ；メッセージ番号61～67	
	6 転送先を呼び出す 7 転送であることを案内するメッセージを流す。 ・着信メッセージ；メッセージ番号71～77	 <p>大阪支店からの転送です</p>
8 通話		

- 転送が正常に行われない場合は、本装置からそのことを案内するメッセージが流れます。詳細は、「ご参考 転送ができなかったときに流れるメッセージ《P.40》」をご参照ください。
- 本装置に接続してあるPBXやターミナルアダプタの機能によっては、電話をかけた方や転送先が本装置の処理中に電話を切った場合、電話をかけた方や転送先に挨拶メッセージや着信メッセージが流れることがあります。

2. ツリー転送モード


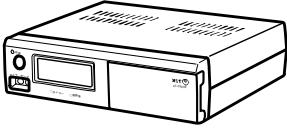


前項の選択転送モードと基本的には同じですが、転送先を案内するメッセージを最大3段階にわけ、順に細かい転送先を案内します。1パターン作ることができます。

電話をかけてきた方	本装置	転送先
<p>1 本装置に電話をかける。</p> 		
 <p>はい、こちらは〇〇でございます。 係におつなぎしますので、 音声案内に従いプッシュ 信号でお選びください。</p> <p>総務部は1番 営業部は2番 ……</p>	<p>2 「挨拶」「総合案内」メッセージを流す。 ・挨拶メッセージ；メッセージ番号1 ・総合案内メッセージ；メッセージ番号3</p> <p>3 最初の案内用メッセージを流す。 ・ツリー案内1メッセージ；メッセージ番号20</p>	
<p>4 案内に従い、プッシュホン信号でダイヤルする。</p>  <p>総務課は1番 経理課は2番 ……</p>	<p>5 ダイヤルされたプッシュホン信号に応じた案内用メッセージを流す。 ・ツリー案内2メッセージ； メッセージ番号21～29</p>	
<p>6 案内に従い、プッシュホン信号でダイヤルする。</p>  <p>総務係は1番 庶務係は2番 ……</p>	<p>7 ダイヤルされたプッシュホン信号に応じた案内用メッセージを流す。 ・ツリー案内3メッセージ； メッセージ番号31～60</p>	
<p>8 案内に従い、転送先をプッシュホン信号でダイヤルする。</p>  <p>担当者におつ なぎします</p>	<p>9 転送することを案内するメッセージを流す。 ・呼出メッセージ；メッセージ番号61～67</p>	
	<p>10 転送先を呼び出す。</p> <p>11 転送であることを案内するメッセージを流す。 ・着信メッセージ；メッセージ番号71～77</p>	 <p>大阪支店からの 転送です</p>
<p>12 通話</p>		

- 転送が正常に行われない場合は、本装置からそのことを案内するメッセージが流れます。詳細は、「ご参考 転送ができなかったときに流れるメッセージ《P.40》」をご参照ください。
- 本装置に接続してあるPBXやターミナルアダプタの機能によっては、電話をかけてきた方や転送先が本装置の処理中に電話を切った場合、電話をかけてきた方や転送先に挨拶メッセージや着信メッセージが流れることがあります。


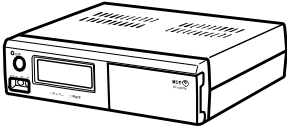

3. 転送専用モード

着信があるとあらかじめ決めた転送先へ無条件で転送します。電話をかけてきた方にメッセージは流しません。転送先を変え最大5つのパターンを作ることができます。

電話をかけてきた方	本装置	転送先
1 本装置に電話をかける。 		
	2 転送先を呼び出す。 3 転送であることを案内するメッセージを流す。 ・着信メッセージ：メッセージ番号 71～77	 <p>大阪支店からの転送です</p>
4 通話		

4. 応答専用モード

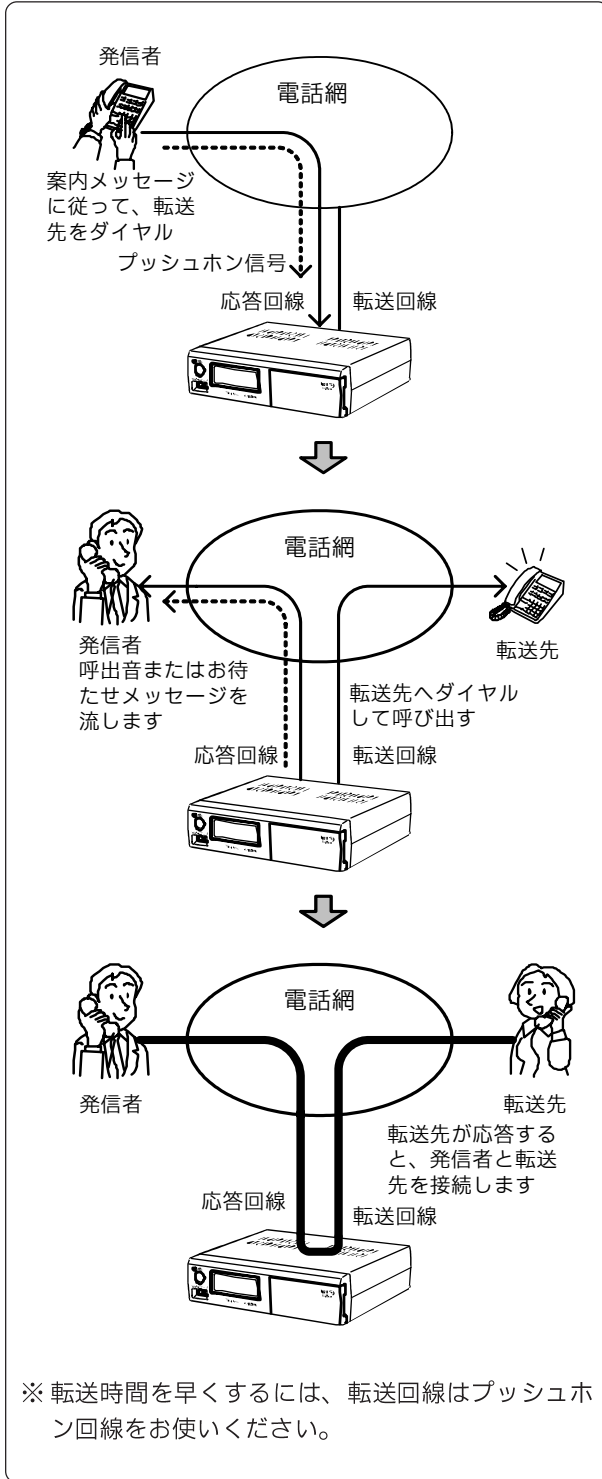
着信があるとあらかじめ決められたメッセージを流します。メッセージの内容を変えて最大9つのパターンを作ることができます。

電話をかけてきた方	本装置	転送先
1 本装置に電話をかける。 		
 <p>はい、こちらは〇〇でございます。いつもお世請に…</p> <p>土曜、日曜日はお休みをいただいております…</p> <p>お電話をいただきありがとうございます。</p>	2 挨拶メッセージを流す。 ・挨拶メッセージ：メッセージ番号 1 3 応答案内メッセージを流す。 ・応答案内メッセージ：メッセージ番号 81～89 4 終了案内メッセージを流す。 ・終了案内メッセージ：メッセージ番号 2	

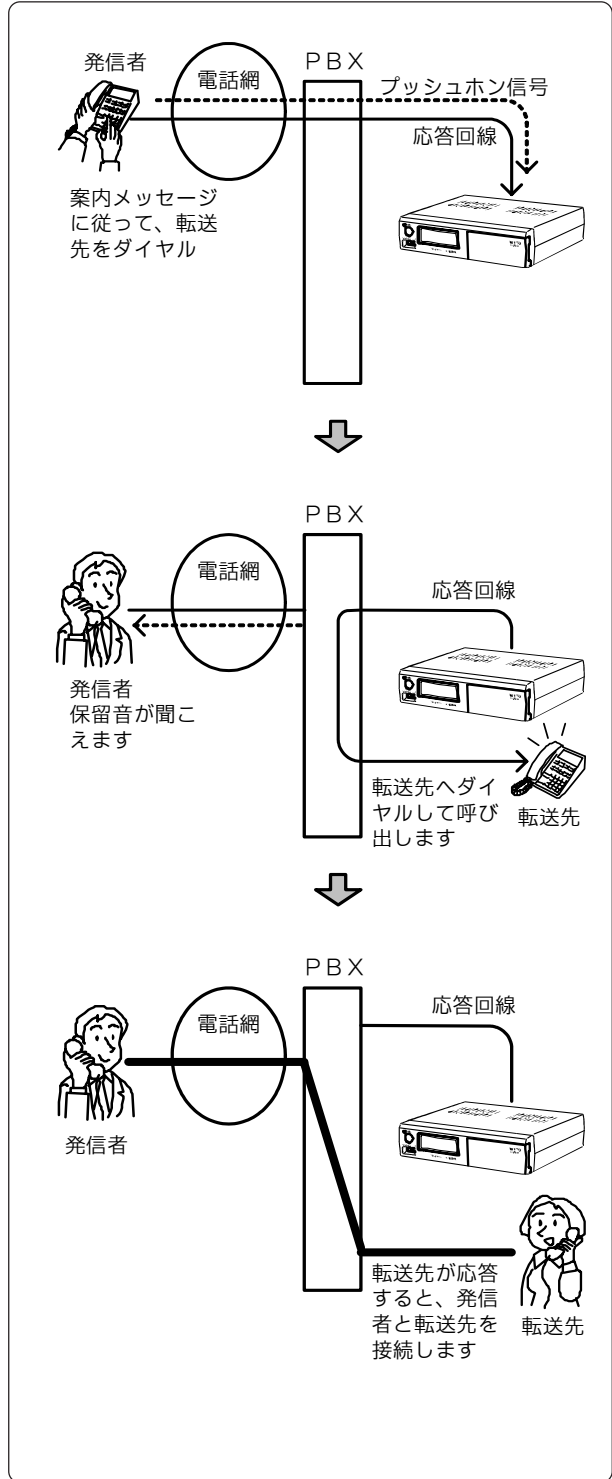
転送の方式

接続する回線によって4種類の方法で転送することができます。

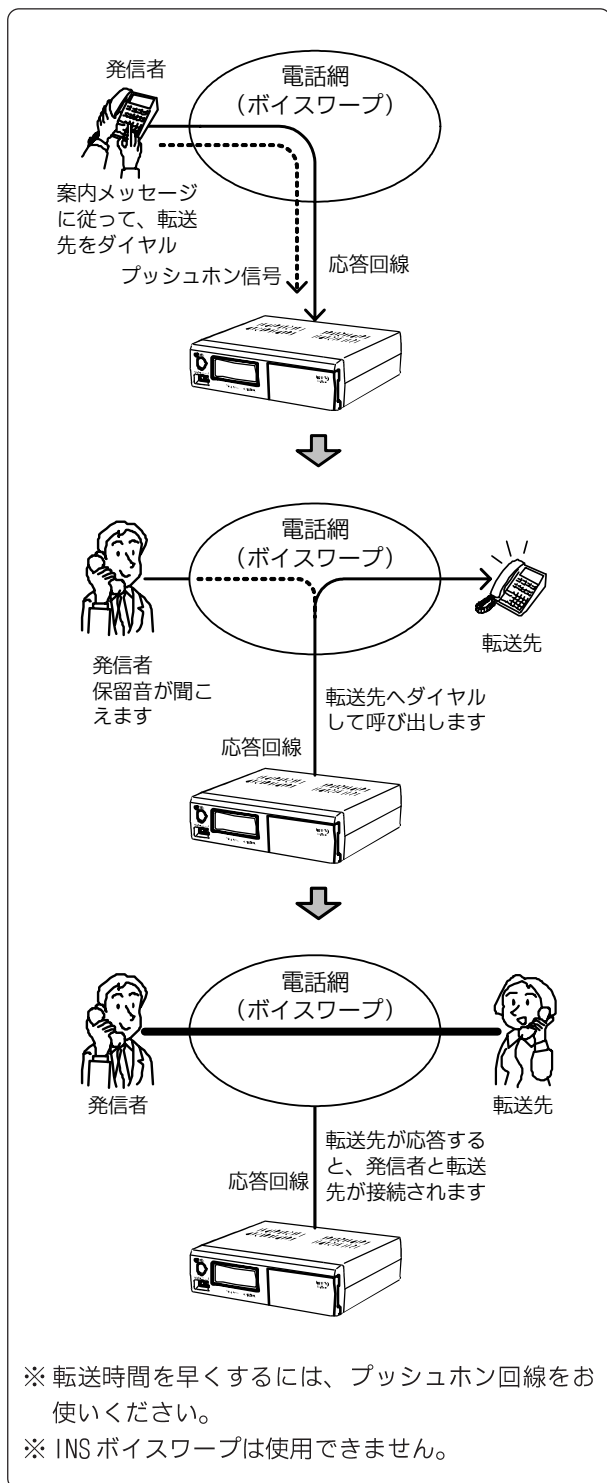
方式1：転送回線を利用して転送



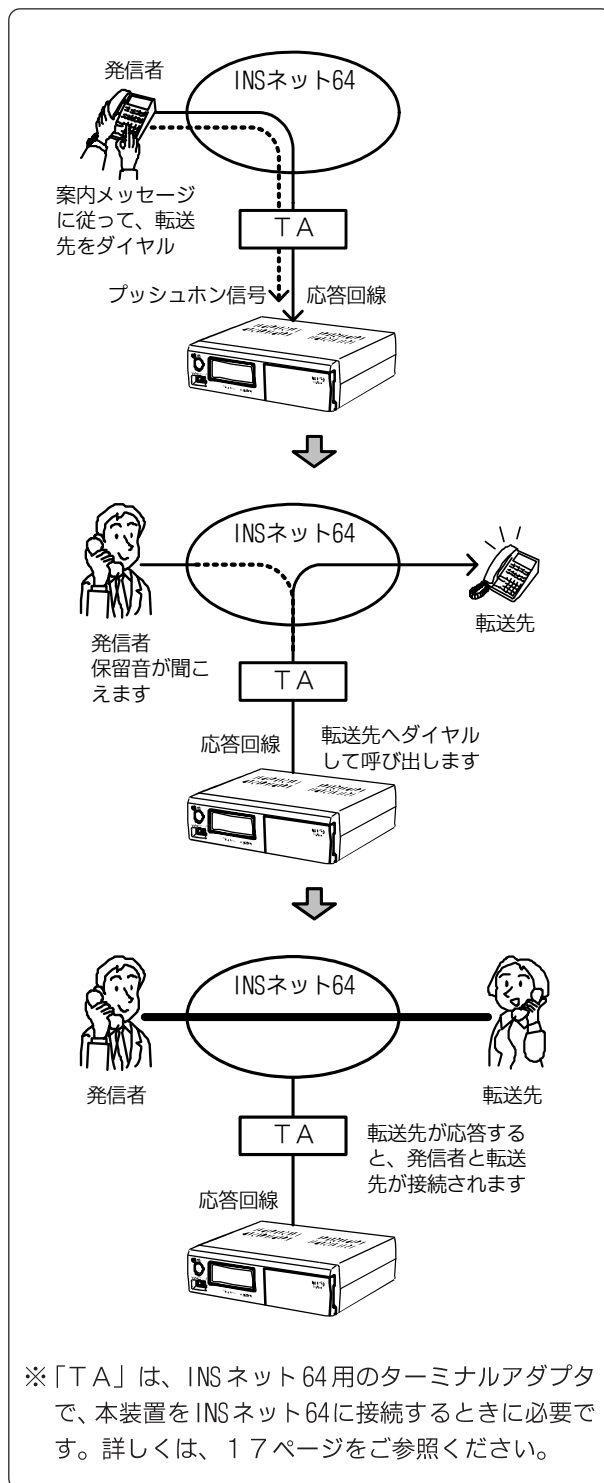
方式2：PBXの内線転送



方式3：ボイスワープ転送



方式4：フレックスホンの通信中転送



年間タイマーについて

時刻を指定して本装置の応答モードを変えたり、応答を休止することができます。

年間タイマーは、「曜日スケジュール」・「祝日スケジュール」・「特定日スケジュール」の3種類あります。

いずれも、ある応答モード（選択転送モード、ツリー転送モード、転送専用モード、応答専用モードのうち一つ）をxx時xx分からxx時xx分まで運用する、といった指定をします。

これらのスケジュールは、添付のデータ入力ソフトをインストールしたパソコンで作成します。作成したスケジュールはメモリーカードに書き込み、本装置で使用します。

● 曜日スケジュール

- ・ 年間タイマーの基本になるスケジュールで、各曜日ごとの7種類のパターンを登録できます。
- ・ 1パターンには、最大15ステップまで登録することができます。

● 祝日スケジュール

- ・ 祝日には曜日スケジュールとは異なるパターンで運用するときにご利用し、1種類の登録ができます。
- ・ 祝日スケジュールを使わずに、祝日も通常の曜日スケジュールで運用することもできます。その場合は、登録の必要はありません。
- ・ 1パターンには、最大15ステップまで登録することができます。

● 特定日スケジュール

- ・ 年月日を指定して、特別なスケジュールで運用するときにご利用し、22種類のパターンを登録することができます。
- ・ 企業独自の休日や行事などに利用します。使用しないときは、登録の必要はありません。
- ・ 作成したパターンを年月日を指定して登録します。
- ・ 1パターンには、最大15ステップまで登録することができます。

ワンポイント

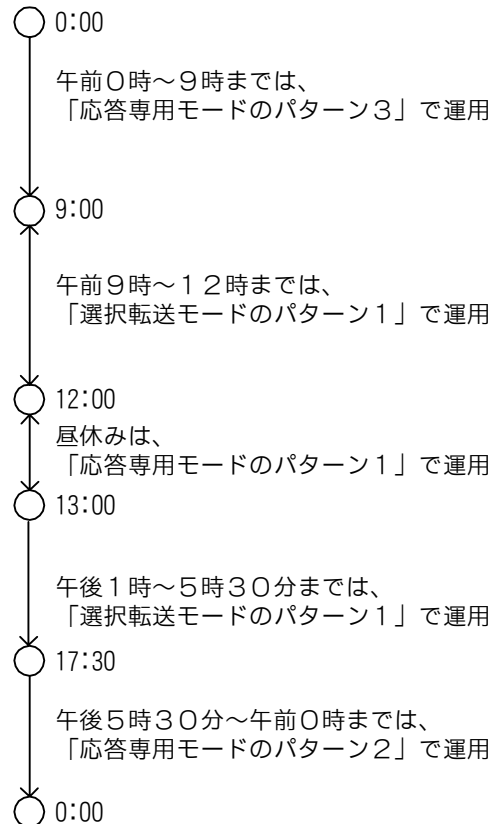
● 優先順位

「曜日スケジュール」→「祝日スケジュール」→「特定日スケジュール」の順に優先度が高くなります。例えば、「曜日スケジュール」の日に、「特定日スケジュール」を設定すると、その日は、「曜日スケジュール」に替わって「特定日スケジュール」で運用します。

● 本ソフトは4年先の12月31日までのスケジュールを作成しメモリーカードに書き込みます。このスケジュールをすべて使い切ると、AT-230IVRを年間タイマーで運用することができなくなります。

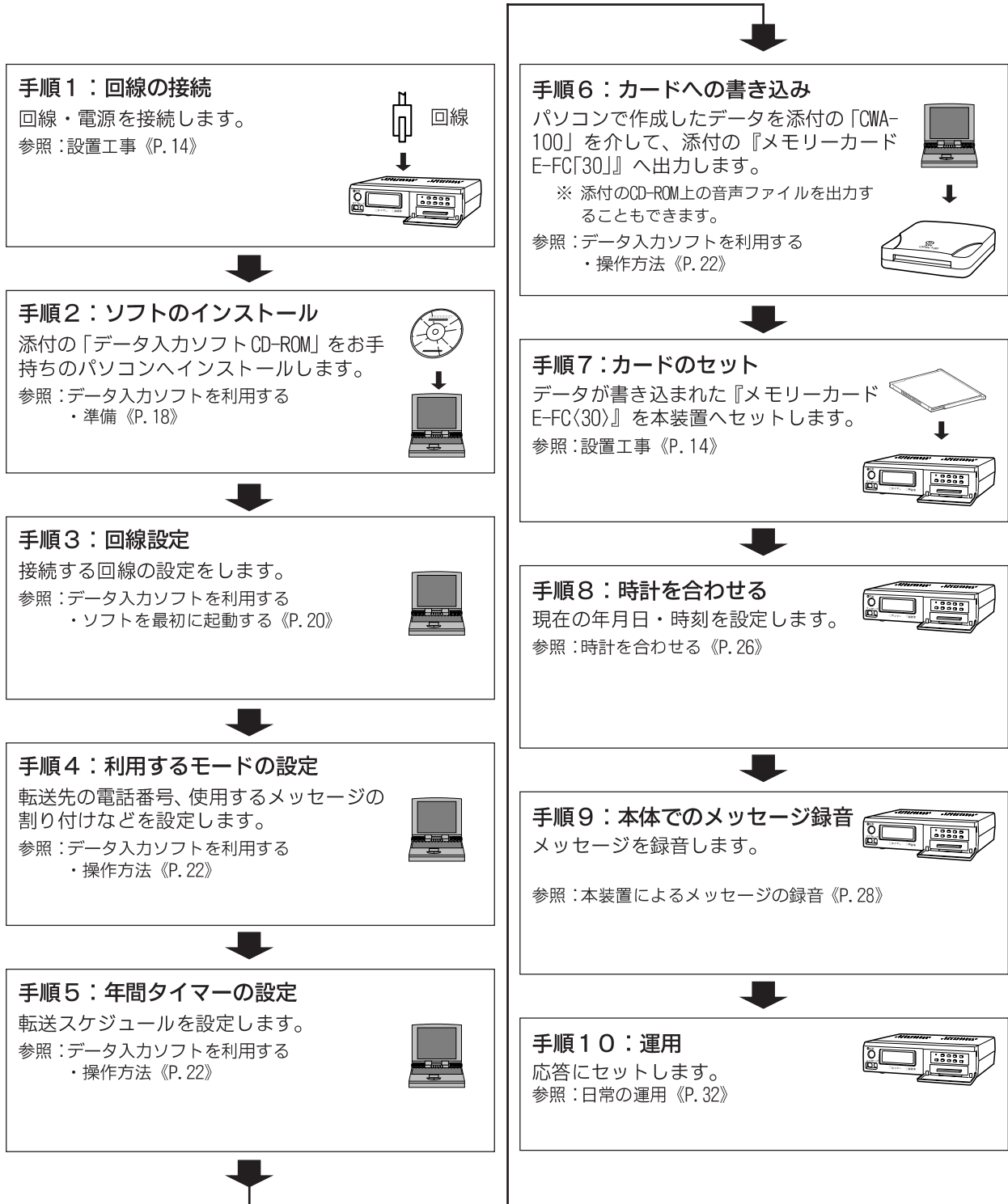
1年に1回程度は本ソフトを起動し、スケジュールをチェック・修正後メモリーカードに保存してください。その時点からさらに4年先の12月31日まで有効なスケジュールがカードに書き込まれます。

■ 運用の一例



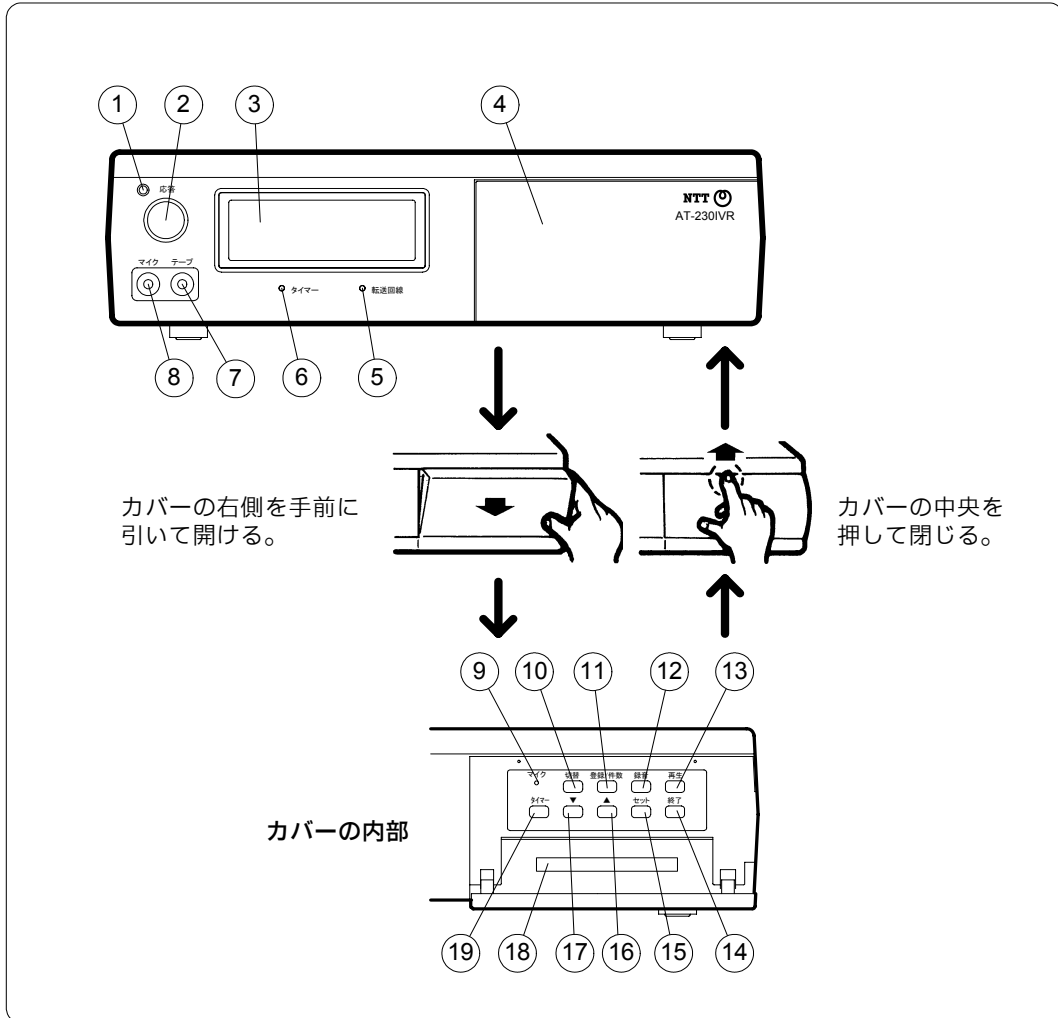
お使いになるまでの手順

本装置で回線応答させるには、あらかじめ次の操作が必要です。

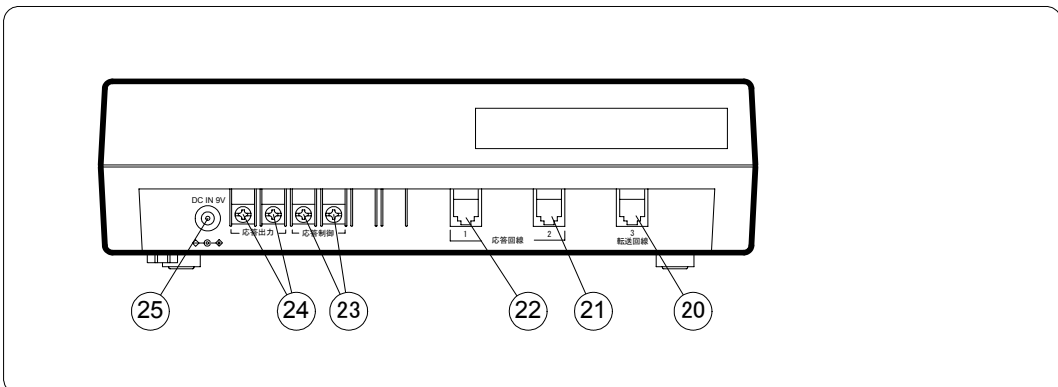


各部の名前とはたらき

■前面



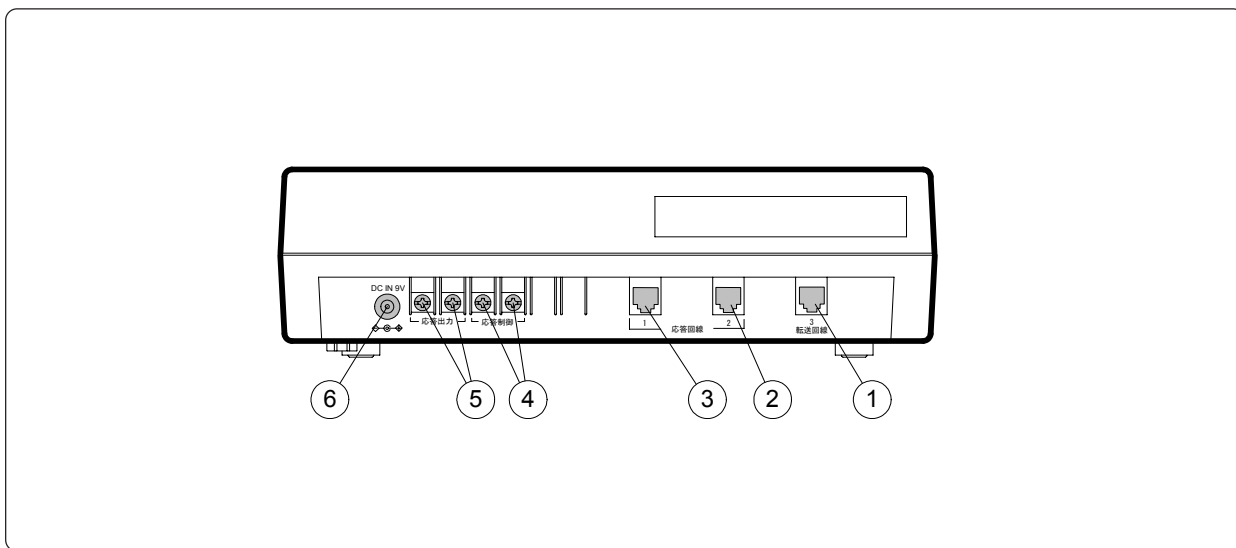
■後面



番号	名称	主なはたらき
1	応答ランプ	本装置の運用の状態を表示します
2	応答ボタン	本装置の運用を開始するときに押します
3	ディスプレイ	現在時刻や、着信件数などを表示します。録音／再生中は秒数を表示します
4	操作部カバー	開けると機能スイッチなどがあります
5	転送回線ランプ	転送回線を使用して転送中に点灯します
6	タイマーランプ	年間タイマーの運用状態を表示します
7	テープジャック	外部音源からメッセージを録音するときに使用します
8	マイクジャック	外部マイクを接続します
9	内蔵マイク	内蔵マイクの開口部です
10	切替ボタン	マニュアル運用をするときに応答モードを切り替えます
11	登録／件数ボタン	時刻を合わせるとき、件数を表示するときに押します
12	録音ボタン	メッセージを録音するときに押します
13	再生ボタン	メッセージを再生するときに押します
14	終了ボタン	各種の動作を終了するときに押します
15	セットボタン	時刻を合わせるとき、応答モードを決めるときに押します
16	▲ボタン	時刻を合わせるとき、応答パターンを決めるときに使用します
17	▼ボタン	
18	メモリーカードスロット	メモリーカードを挿入します
19	タイマーボタン	年間タイマーの入り／切りをします
20	転送回線接続ジャック	転送用の回線を接続します
21	応答回線接続ジャック(回線2)	応答用の回線を接続します
22	応答回線接続ジャック(回線1)	
23	応答制御端子	応答の入り／切りを外部から行うときに、切り替えのための信号を接続します
24	応答出力端子	応答ランプが点灯中に信号を出力します
25	電源アダプタジャック	添付の電源アダプタを接続します

設置工事

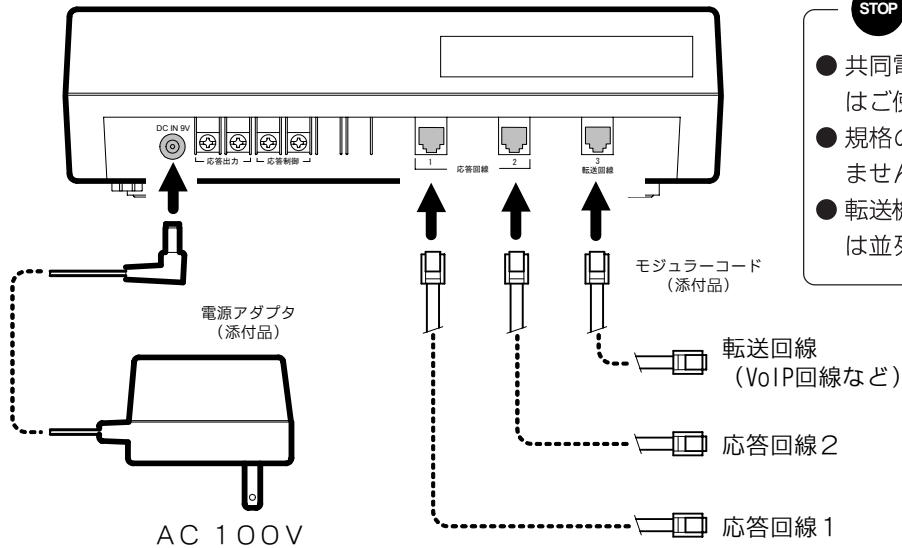
■本装置後部



●端子・ジャック部

番号	名称	備考
1	転送回線ジャック	6/2モジュージャック
2	応答回線ジャック (回線2)	6/2モジュージャック
3	応答回線ジャック (回線1)	6/2モジュージャック
4	応答制御端子	接点容量10V、10mA以上の接点を接続してください
5	応答出力端子	無電圧メーク出力 (接点容量: DC30V、500mA)
6	電源アダプタジャック	添付の電源アダプタを接続してください

回線と電源の接続

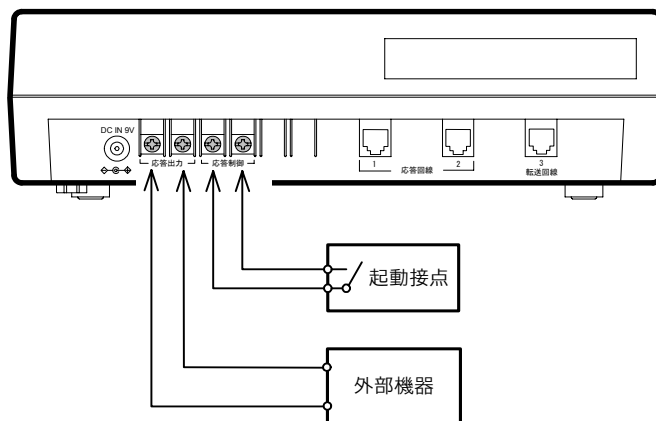


STOP お願い

- 共同電話・公衆電話・地域集団電話ではご使用になれません。
- 規格の異なる海外ではご使用になれません。
- 転送機能を使う場合、本装置と電話機は並列接続をしないでください。

添付の電源アダプタ以外は使用しないでください。火災などの原因になります。

外部機器の接続



● 応答制御端子

ONになると本装置の応答ボタンを押したときと同じ状態になります。ONの間、その状態を継続します。OFFになると本装置の終了ボタンを押したときと同じ状態になります。OFFの間、その状態を継続します。

● 応答出力端子

本装置の応答ランプが点灯している間信号(無電圧メーク接点)を出力します。

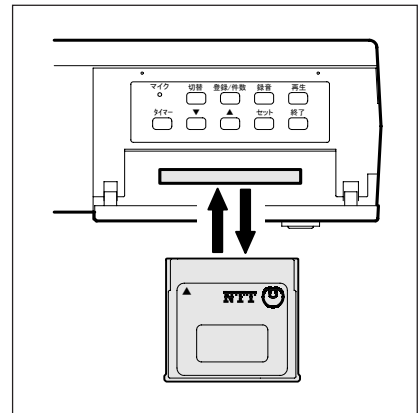
■メモリーカードについて

● 入れ方

- 1 操作部カバーを開けます。
- 2 ラベル面を上にして、メモリーカードをメモリーカードスロットにしっかり奥まで差し込みます。

● 出し方

- 1 操作部カバーを開けます。
- 2 メモリーカードの両端を手でつまんで引き出します。取り出すときは次のことに注意してください。
 - * 「応答」ランプが消えていることを確認してください。点灯しているときは、[終了]ボタンを押して「応答」ランプを消してから取り出してください。（33, 35 ページをご参照ください。）
 - * 録音/再生中でないことを確認してください。録音/再生中のときは作業を終えてから取り出してください。（29, 30, 31 ページをご参照ください。）



● メモリーカードに記録される内容

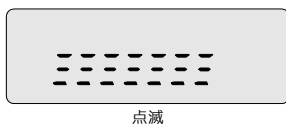
- * 録音した各種メッセージ
- * 機能登録データなどの各種情報
- * 着信件数などのデータ
- * 年間タイマーのデータ

● 型番

AT-2301VR カード E-FC<30M>

🎵 ワンポイント

- メモリーカードを入れると、ディスプレイは数秒間下のような表示になります。



STOP お願い

- 本装置はメモリーカードが入っていないと動作しません。入ってなかったり、入れ方が不完全なときはディスプレイの表示が下図のようになりアラーム音(ピピ、ピピ..)が出ます。アラーム音を止めるためには、[終了]ボタンを押してください。



- メモリーカードを抜くときは上記の「出し方」の方法に従ってください。誤った操作をするとメモリーカード上のデータが消えることがあります。
- メモリーカードは、「AT-2301VRカードE-FC<30M>」以外のものは使用できません。

停電のときは

- 本装置の動作
停電すると、本装置は、着信に応答しません。回線に応答中や転送中の場合は、停電と同時に回線への応答・転送が終了することがあります。停電が復旧したときは、停電前の状態へ戻って、動作を継続します。
- 内蔵時計
内蔵の時計は、約10日バックアップされています。10日以上停電した場合は、通電後、年月日・時刻を合わせてください。時計が止まるまでの時間は、ご利用状況により変わることがあります。
- データ等
録音内容や各種データは、消えることはありません。

ボイスワープをご利用の場合

- ボイスワープ契約（有料）が必要です。お申し込み・お問い合わせは、局番なしの「116」へご連絡ください。
- ボイスワープご利用上の注意
 1. 転送サービスは、応答後転送の設定をしてください。
 2. 転送できない電話番号があります。
 くわしくは、ボイスワープの取扱説明書をご覧ください。

フレックスホンをご利用の場合

- フレックスホンの通信中転送機能の契約（有料）が必要です。お申し込み・お問い合わせは、局番なしの「116」へご連絡ください。
- ターミナルアダプタご利用上の注意
 1. 次の機能があるターミナルアダプタを本装置に接続してご使用ください。
 - A. フレックスホンの通信中転送サービスに対応していること。（Bチャンネルを2チャンネル使用する疑似三者通話機能ではありません。）
 - B. 発信者と通話中にフッキングのみで発信者を保留して、転送先にダイヤルできること。
 - C. 転送先が応答する前に、もしくは転送先が話中のときにフッキングすると、発信者との通話に戻ることができること。
 - D. 転送先が応答した後、フッキングで1秒後にオンフックすると発信者と転送先との通話に移行すること。
 2. ターミナルアダプタは、通信中転送に設定してください。
 くわしくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- 運用上の注意
 1. ターミナルアダプタの機能によっては転送先を呼び出し中は、もう一方の回線から転送できないことがあります。
 2. 着信メッセージが終わってから、通話ができるまでに多少時間がかかる場合があります。
 3. 呼出メッセージが終わってから、保留音が流れるまでに多少時間がかかる場合があります。

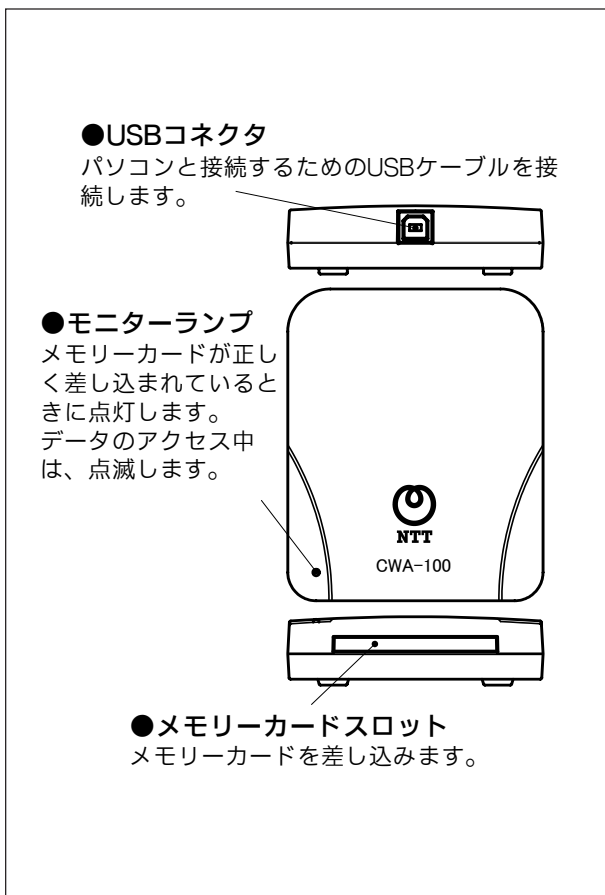
データ入力ソフトを利用する

準備

■使用できるパソコン

- 本体: DOS/V, NEC PC98-NX
- CPU: Pentium 300MHz以上、または同等品
- OS: Windows 98 / 98SE / Me / 2000 Professional / XP 日本語版
- ハードディスク: 25MB以上の空き容量
- メモリ: 64MB以上
- ディスプレイ: 解像度 1024 X 768 ドット以上、画面の色 High Color(16bit)以上
- USBインターフェースがあること
- CD-ROMドライブがあること(インストール用)
- サウンドカードとスピーカー: 8kHz、8bit、μ-Law 音声データが再生できること

■CWA-100の外観



■設定手順

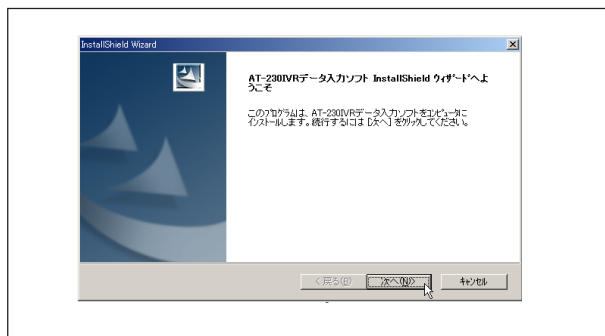
1	ソフトのインストール
	添付のソフトをインストールします。CWA-100は、まだ接続しません。
2	接続
	CWA-100をパソコンに接続します。
3	ドライバーのインストール
	CWA-100のドライバーをインストールします。

以上で準備が完了し、AT-230IVRデータ入力ソフトをお使いになることができます。

■ソフトのインストール

この段階では、まだCWA-100は接続しません。

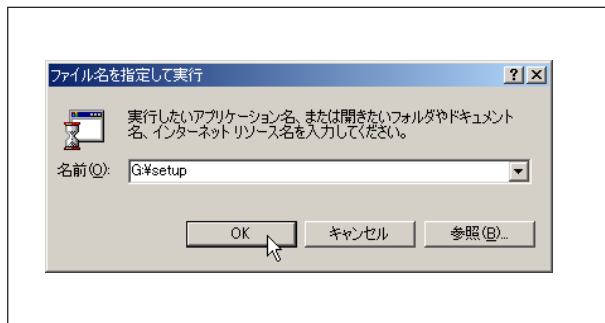
- 1 パソコン上のすべてのアプリケーションソフトを終了します。
- 2 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。
- 3 インストールプログラムが自動的に起動します。[次へ]をクリックします。以降は画面の指示に従ってインストールしてください。



- 4 画面の指示に従って、必要であれば、システムを再起動します。

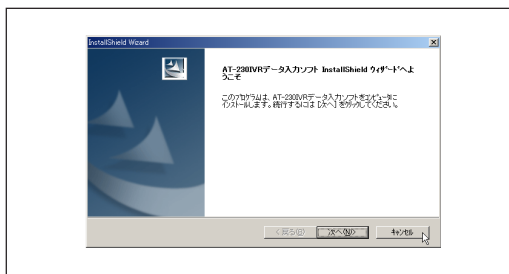
●インストールプログラムが自動的に起動しないとき

- 1 タスクバーの[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックします。
- 2 「名前」欄に、キーボードから「G:\setup」と入れて[OK]ボタンをクリックします。インストールプログラムが起動します。
* 「G:」はCD-ROMのドライブ名です。お使いのシステムによって異なります。

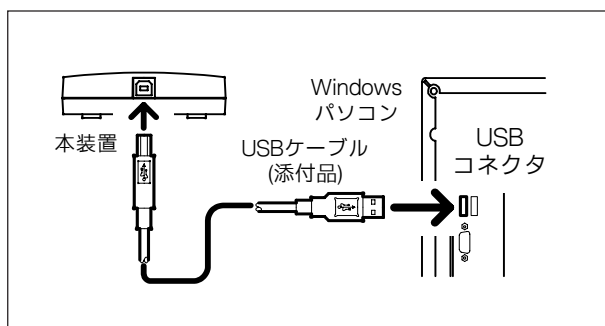


■ CWA-100 をパソコンに接続する

- 1 添付のCD-ROMはパソコンに入れたままにしておきます。
● CD-ROM を取り出してしまったら
(1) CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。
(2) インストールプログラムが起動したら、[キャンセル]ボタンをクリックします。



- 2 CWA-100とお手持ちのWindowsパソコンを、添付のUSBケーブルで接続します。
* パソコンのUSBコネクタの位置はパソコンの機種によって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

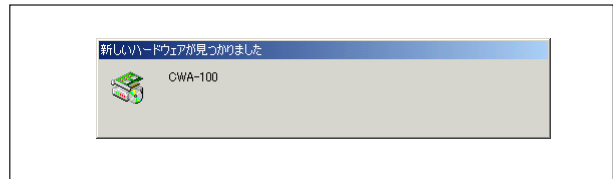


■ドライバのインストール

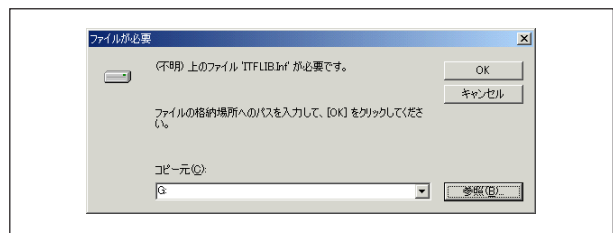
以降の手順は、お使いになっているパソコンのOSにより異なります。

Windows 98 / 98SE / Me / 2000 のとき

- 1 CWA-100 を接続すると、自動的に設定が始まります。



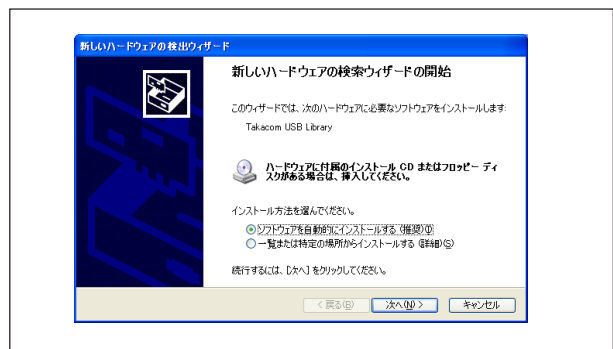
- 2 ご利用のOSによっては、ファイル(TFLIB.INF)の格納場所を指定する画面が表示されることがあります。そのときは「コピー元」の欄にCD-ROMのドライブ名(たとえば、「G:」)を入れて、[OK]ボタンをクリックします。



- 3 インストールが完了します。
- 4 以上で準備が完了し、システムをご利用になることができます。

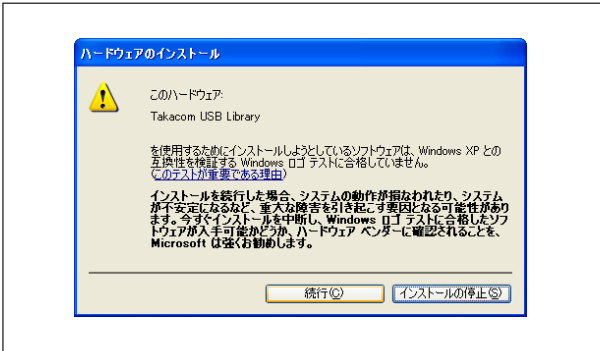
Windows XP のとき

- 1 CWA-100 を接続すると、次の画面が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択します。[次へ]ボタンをクリックすると設定が始まります。



データ入カソフトを利用する

- 2 次の画面が表示されたら、[続行]ボタンをクリックします。インストールが再開します。



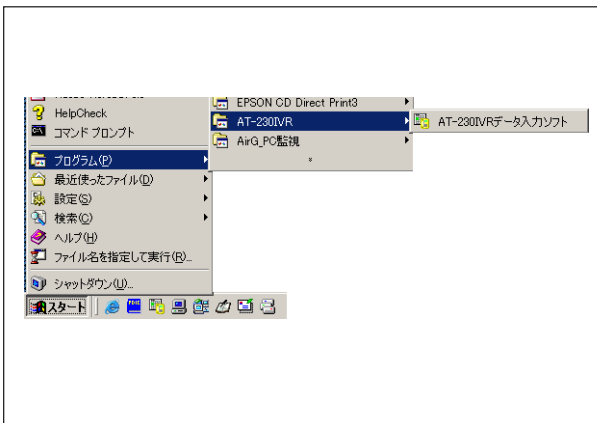
- 3 しばらくするとインストール完了が表示されます。[完了]ボタンをクリックします。
- 4 以上で準備が完了で、システムをお使いになることができます。

STOP お願い

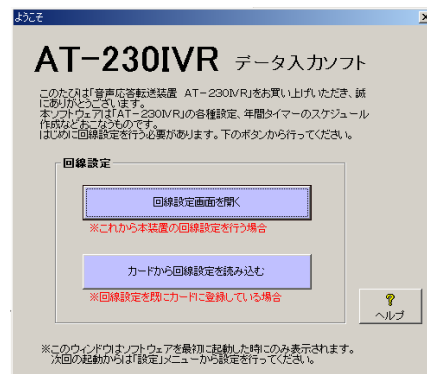
- Windows 2000 または XP のシステムでお使いになる場合、ソフトのインストールは管理者権限を持ったユーザー(たとえば「Administrator」)でログオンして実施してください。
- CWA-100の「モニターランプ」が点滅しているときは、データを読み書きしている途中です。メモリーカードを抜かないでください。点灯に変わるまでお待ちください。メモリーカードを抜くとメモリーカード上のデータを破損することがあります。

ソフトを最初に起動する

- 1 タスクバーを[スタート]→[プログラム]→[AT-230IVR]→[AT-230IVR データ入カソフト]の順にクリックします。



- 2 最初にソフトを起動すると次の画面が表示されます。この画面は、インストール後第1回目の起動時に表示されるだけで以後は表示されません。この画面が表示されない場合は、22ページから始めます。

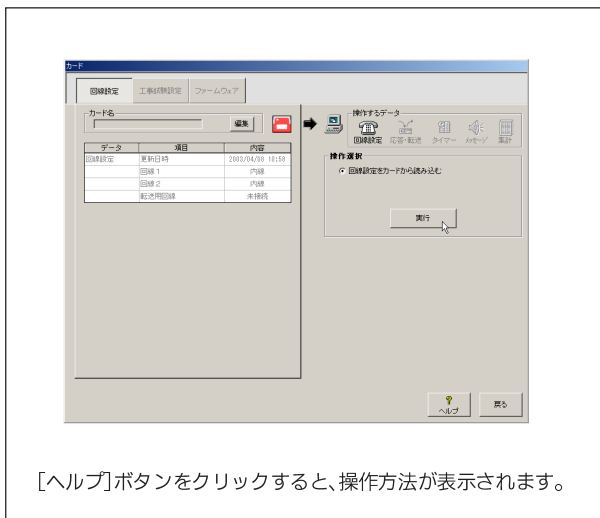


[ヘルプ]ボタンをクリックすると操作方法が表示されます。

- 3 [カードから回線設定を読み込む]ボタンをクリックします。

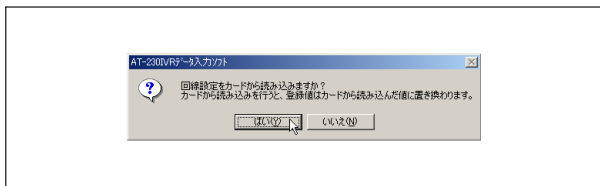


- 4 メモリーカードをCWA-100に差し込んで[OK]ボタンをクリックします。
カードから読み込む画面が表示されます。

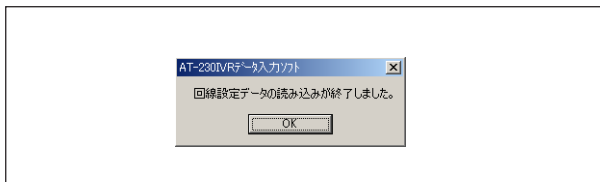


[ヘルプ]ボタンをクリックすると、操作方法が表示されます。

- 5 [実行]ボタンをクリックします。



- 6 [はい]ボタンをクリックするとカード上のデータが読み込まれます。



- 7 [OK]ボタンをクリックすると回線設定画面が開きます。必要であれば設定を変更します。



[ヘルプ]ボタンをクリックすると、操作方法が表示されます。

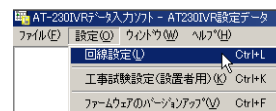
- 8 [戻る]ボタンをクリックします。
操作は完了し、メニュー画面が表示されます。



Ver *.* は、本ソフトのバージョンを表します。

ワンポイント

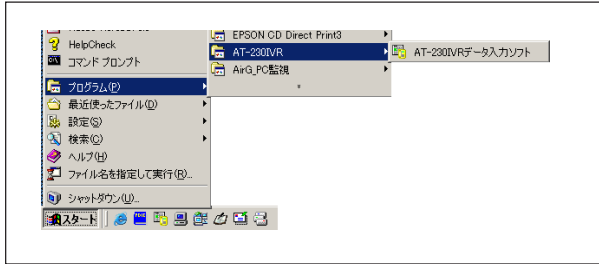
運用中に回線設定画面を表示し設定するときには、メニュー画面を表示中に、メニューバーを[設定(0)]→[回線設定(L)]の順にクリックします。



操作方法

■ソフトの起動

タスクバーを[スタート]→[プログラム]→[AT-230IVR]→[AT-230IVR データ入カソフト]の順にクリックします。



■メニュー画面

起動直後の画面で、ボタンをクリックすることにより各種の設定を行います。



ソフトを終了するときは、この画面に戻り[終了]ボタンをクリックします。

■設定手順

最初は、次のように4段階の操作を行います。

1	応答モード
	4種類ある応答モードから、使用する応答モードを決めます。 つぎに、各モードの動作条件を設定します。 ●4種類の応答モードボタンを使います。

2	年間タイマー
	AT-230IVRを自動運用するための年間タイマーを設定します。 ●年間タイマーボタンを使います。

3	カードへの書き込み
	パソコン上に作成した各種データをメモリーカードに書き込みます。 ●カード操作ボタンを使います。

4	メッセージ設定
	メッセージの内容を印刷し、録音時の原稿にします。 ●メッセージ設定ボタンを使います。

■応答モード

●使用するモードを決めます

4種類ある応答モードのうちから、使用する応答モードを決めます。使用する応答モードのチェックボックスをクリックし、チェックを付けます。各モードの説明は、「システム概要 応答モード」(5ページ)をご参照ください。

●各モードの動作を決めます

使用する応答モードのボタンをクリックし、それぞれの設定画面を開きます。

(1)基本設定

- ① 転送先の名称、電話番号を登録します。
- ② 使用するメッセージ番号(画面上では、「xxch」のように表示されています)とその内容を決めます。

メッセージは、添付のサンプルメッセージが使えるときは、「音声ファイルの割付」をします。その場合、録音の必要ありません。サンプルメッセージがそのままご利用いただけないときは、メッセージの内容を一覧表に書き込んでおきます。

(2)動作条件の設定(応答転送設定)

応答するまでのベル回数や、メッセージの繰り返し回数などの動作条件を決めます。

■年間タイマー

●使う／使わないを決めます

年間タイマーを使うと、応答モードの自動切り替えや停止ができます。タイマーを使うときは、「年間タイマー」ボタンのチェックボックスにチェックをつけます。[年間タイマー]ボタンをクリックしてタイマーの登録をします。タイマーを使わないときは、チェックをつけず、また登録の必要もありません。

タイマーには、次の3つのスケジュールがあります。

- 曜日スケジュール
- 祝日スケジュール
- 特定日スケジュール

スケジュールの詳細は「年間タイマーについて」(10ページ)をご参照ください。

■カードへの書き込み

パソコン上のデータをメモリーカードに転送します：

- ①各モードの登録データ
- ②年間タイマーのデータ
- ③メッセージに割り付けたパソコン上の音声ファイル

■メッセージ設定

各応答モードで使用する決めたメッセージが、表形式で表示されます。必要であれば一覧表を印刷し、録音時の原稿にします。

原稿を元に、AT-2301VRで録音します。

■ソフトの終了

[終了]ボタンをクリックします。

■こんなこともできます

●集計データを表示

AT-2301VRの動作状況を把握するため、応答件数などのデータを表示、保存、消去ができます。

操作方法：

カード操作画面を開き、「集計データ」タブをクリックします。

●カード上のデータをコピー／パソコン保存

メモリーカード上のデータを、ほかのカードにコピーしたり、パソコンに保存することができます。また、パソコンに保存したデータを、メモリーカードに書き込むこともできます。

操作方法：

カード操作画面を開き、「コピー／初期化」タブをクリックします。

STOP お願い

- Windows XPで本ソフトをご利用いただく場合は、本ソフトが稼働中は「ユーザー切り替え」は使わないでください。データが破損することがあります。
- 本ソフトが稼働中は、OSをスタンバイモードや休止モードにしないでください。データが破損することがあります。

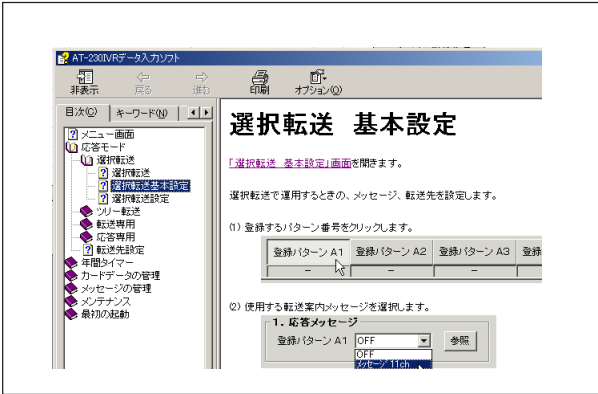
■ヘルプについて

各画面の詳しい操作方法は、ヘルプ画面をご参照ください。

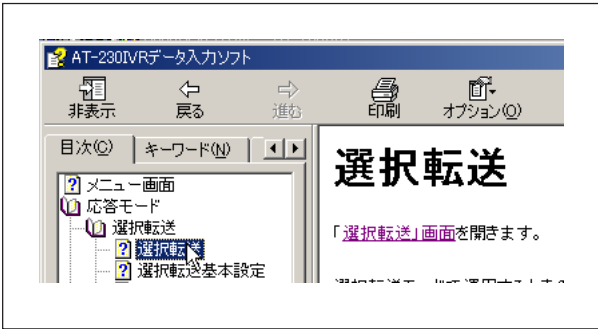
操作中に各画面上の[ヘルプ]ボタンをクリックします。



ヘルプ画面が表示されます。

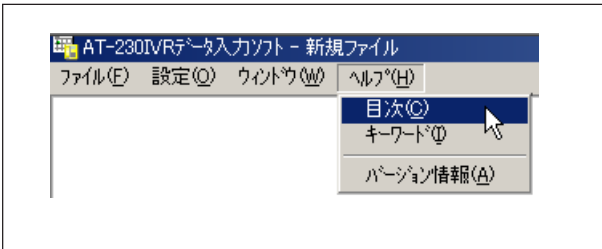


表示されたヘルプの「目次」部分ををクリックすると、別の画面の説明を表示することもできます。

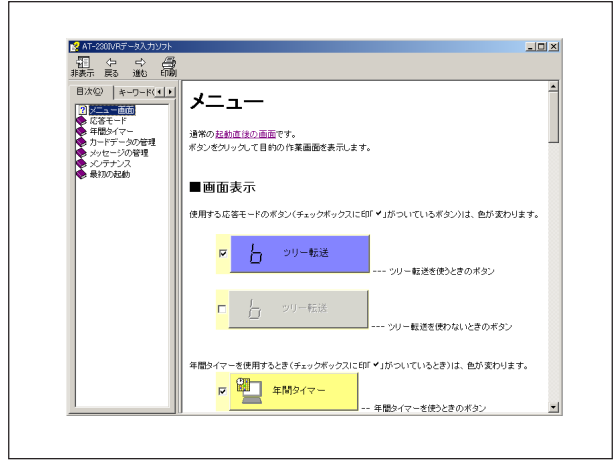


メニュー画面にはヘルプボタンがありませんので次の操作でのヘルプを表示してください。

メニュー画面を表示中に、メニューバーを[ヘルプ(H)]→[目次(C)]の順にクリックしてください。



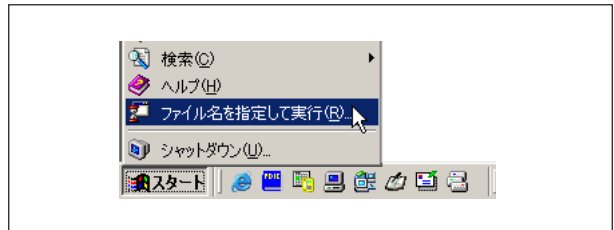
メニュー画面のヘルプが表示されます。



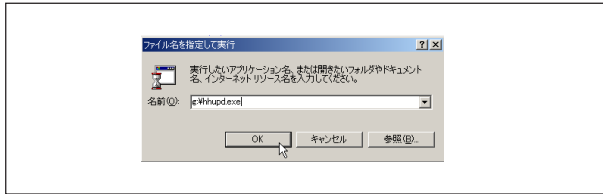
■ Windows98 / 98SE に限った処理

ご使用中のOSがWindows 98 / 98SE の場合、ヘルプの表示や印刷が正常に行われなことがります。そのような場合は、次の操作でWindows 98/ 98SE の表示機能を更新してください。

- 1 CD-ROM をドライブに入れます。
* インストール画面が開いたら、[キャンセル] ボタンをクリックします。
- 2 タスクバーを[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

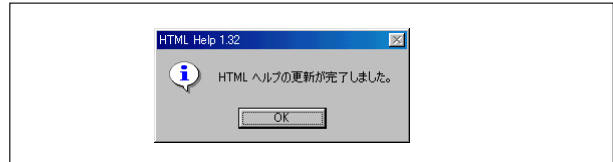


- 3 「名前」欄に、キーボードから[G:\nhupd.exe]と入れて[OK]ボタンをクリックします。
* 「G:」はCD-ROMのドライブ名です。お使いのシステムによって異なります。



4 システムの更新が始まります。画面の指示に従ってください。

5 更新が終了すると、下の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックすると完了です。

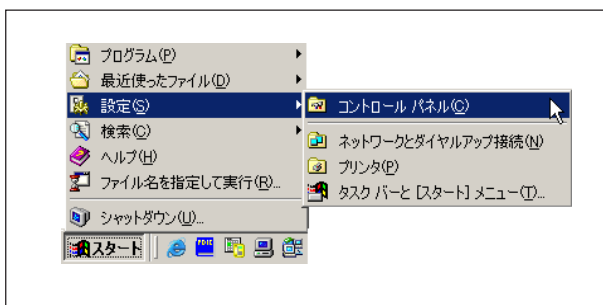


ソフトの削除

ソフトを削除するときは、次の手順で行います。

1 タスクバーを[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順にクリックします。

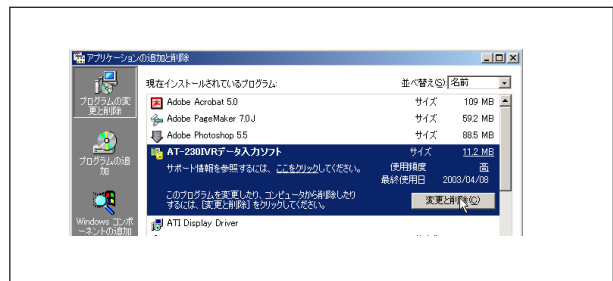
* Windows XPの場合は[スタート]→[コントロールパネル]の順にクリックします。



2 「アプリケーションの追加と削除」を開きます。



3 「AT-230IVRデータ入カソフト」を選びます。



4 ソフトが削除されます。

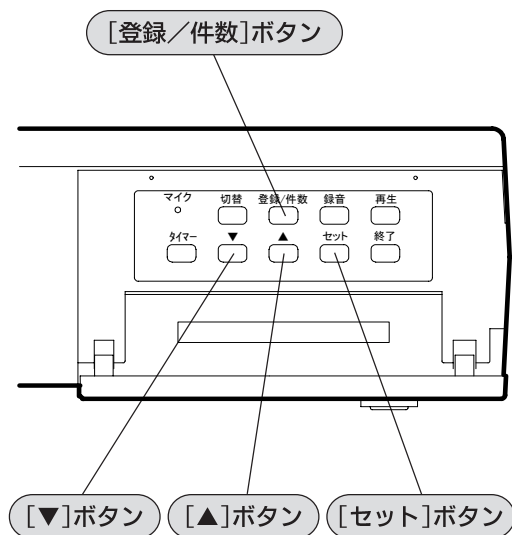
ワンポイント

- 画面はWindows 2000 の例です。ご利用のOSにより、画面や操作が多少変わります。
- Windows 2000またはXPのシステムでお使いになっている場合、ソフトの削除は管理者権限を持ったユーザー(たとえば「Administrator」)でログオンして実施してください。

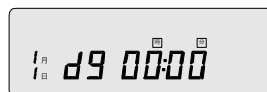
時計を合わせる

内蔵の時計を合わせます。年間タイマーはこの時計に従って運用されます。

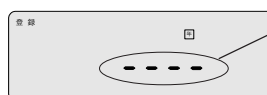
例：2003年8月15日14時38分に合わせます。



- 1 最初に電源を入れ、メモリーカードを入れた状態です。



- 2 **登録/件数** ボタンを押します。
「年」の入力画面になります。



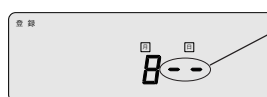
- 3 「年」を合わせます。
▼ または ▲ ボタンを押して、合わせる年を表示させます。



- 4 **セット** ボタンを押します。
「月」の入力画面になります。



- 5 「月」を合わせます。
▼ または ▲ ボタンを押して、合わせる月を表示させます。続いて **セット** ボタンを押します。
「日」の入力画面になります。



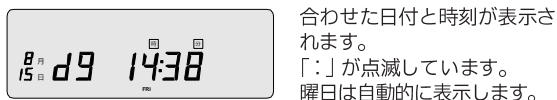
- 6 「日」を合わせます。
 ▼ または ▲ ボタンを押して、合わせる日を表示させます。続いて **セット** ボタンを押します。
 「時」の入力画面になります。



- 7 「時」を合わせます。
 ▼ または ▲ ボタンを押して、合わせる時を24時間制で表示します。続いて **セット** ボタンを押します。
 「分」の入力画面になります。



- 8 「分」を合わせます。
 ▼ または ▲ ボタンを押して、合わせる分を表示します。
セット ボタンを押したときにゼロ秒になります。
 待機画面が表示されます。



ワンポイント

- 時刻を修正するときは、待機画面のときに、**登録/件数** ボタンを押し手順2から同様の操作をしてください。「応答」ランプが点灯しているときは、**終了** ボタンを押し「応答」ランプを消してから操作してください。
- 操作の途中で2分間何も操作をしないと、それまでの操作をキャンセルし、待機画面に戻ります。
- 停電が約10日以上続くと時計が止まり、リセットされます。そのときは、通電後手順1から合わせなおしてください。
- 途中で**終了** ボタンを押すと、それまでの操作をすべてキャンセルし、手順1に戻ります。
- 手順3, 5~8で ▼ または ▲ ボタンを押し続けることにより、日付や時刻の早送り・早戻しができます。

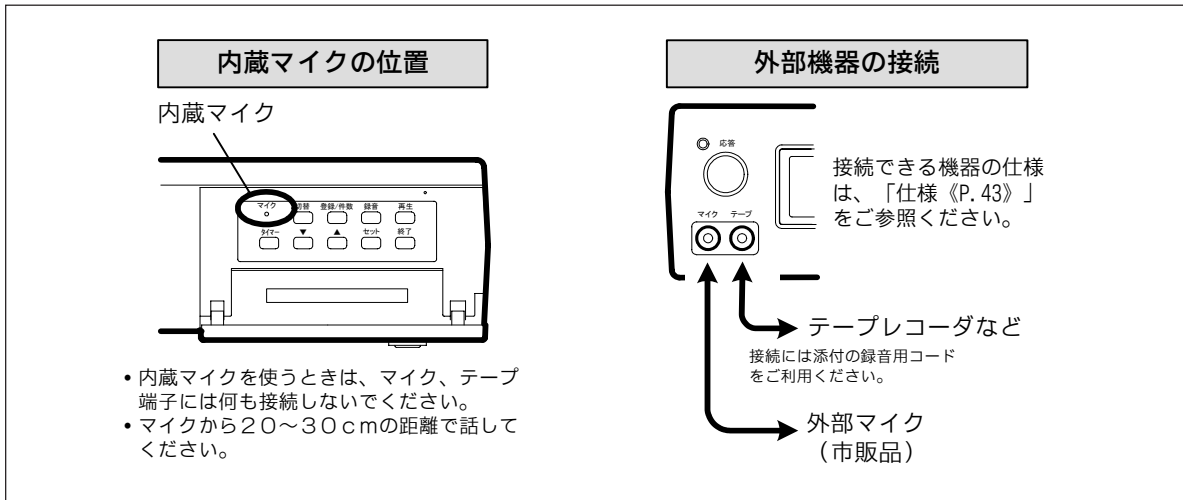
本装置によるメッセージの録音

録音の準備

本装置はマイクを内蔵しています。従って、特別な機器を接続しなくても録音ができます。

テープレコーダなどに録音したメッセージをコピーするときや、音質を重視するために外部マイクを接続するときは、次のように接続します。

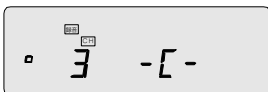
また、外部マイクとテープレコーダなどを両方接続するとミキシング録音ができます。



ワンポイント

- テープレコーダからコピーしたりミキシング録音をするときは、手順3で**「セット」**ボタンを押す前にテープレコーダを再生します。本装置のスピーカから再生音がモニターできます。モニター音は**「▲」**または**「▼」**ボタンで3段階の音量調節ができます。**「セット」**ボタンを押して録音を開始すると、コピー録音のときはモニター音は継続しますが、ミキシング録音のときは**「セット」**ボタンを押すとモニター音は停止します。
- 録音しようとしたメッセージ番号が録音済みのときは、手順2で**「セット」**ボタンを押すと自動的に古いメッセージを消去し手順3に移ります。この間数秒かかります。また、手順3に移ったときに**「終了」**ボタンを押すと、消去だけができます。

消去中の画面

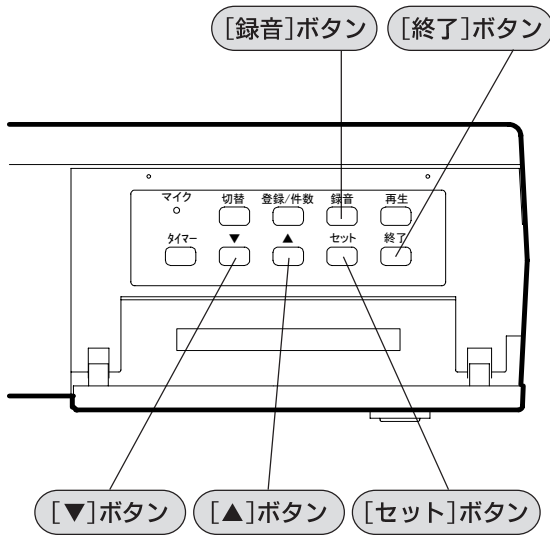


- 録音できる時間は、合計で約30分です。
- 録音の手順2と3で、2分以上何もボタンを押さないと、それまでの操作をキャンセルし、待機画面に戻ります。
- 録音や、メッセージを選択するとき、該当のメッセージをデータ入力ソフトで「使用する」に指定してあると、画面にマークが表示されます。



使用するときのマーク

録音のしかた



必要であれば、あらかじめテープレコーダなどを接続しておきます。

「応答」ランプが点灯しているときは、**[終了]** ボタンを押して運用を終了させます。「応答」ランプが消灯します。

例：メッセージ番号「3」に録音します。

- 1 待機画面のときに、**[録音]** ボタンを押します。メッセージ番号の入力画面になります。



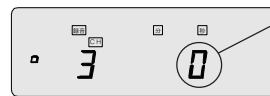
メッセージ番号の「-」が点滅しています。表示の時間は、未使用の録音時間です。

- 2 **[▲]** または **[▼]** ボタンを押して、録音するメッセージ番号を表示させます。

* 番号を切り替えると、該当のメッセージの録音時間が表示されます。未録音のときは、「0」が表示されます。

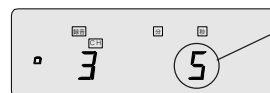
[セット] ボタンを押します。

録音の開始待ちになります。



「0」が点滅しています。

- 3 **[セット]** ボタンを押すと録音が始まります。

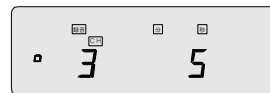


録音時間がカウントされます。

- 4 **[終了]** ボタンを押すと録音が終わります。

* メッセージ番号の選択待ちになります。

手順2と手順3の操作を繰り返すことにより、別のメッセージを録音することができます。



- 5 録音を終わるときは、**[終了]** ボタンを押します。待機画面になります。



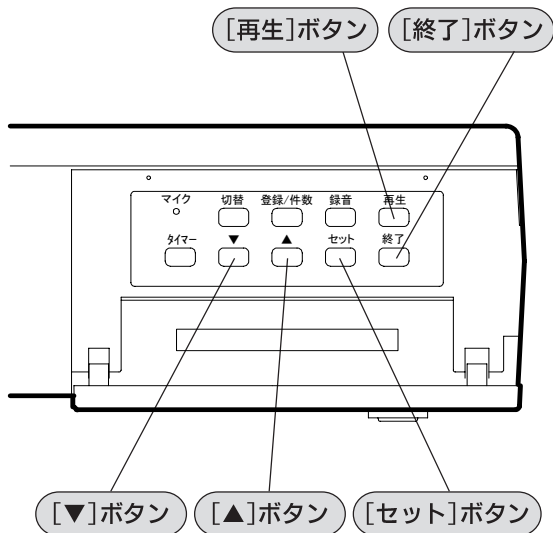
STOP お願い

- 録音中にはメモリーカードを抜かないでください。メモリーカード上のデータが消えることがあります。

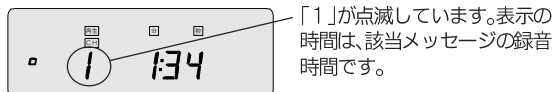
メッセージの再生

「応答」ランプが点灯しているときは、**〔終了〕** ボタンを押して運用を終了させます。「応答」ランプが消灯します。

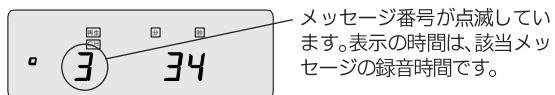
例：メッセージ番号「3」を再生します。



- 1 待機画面のときに **〔再生〕** ボタンを押します。



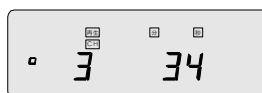
- 2 **〔▲〕** または **〔▼〕** ボタンを押して、再生するメッセージ番号を表示させます。
 * 番号を切り替えると、該当のメッセージの録音時間が表示されます。
 * 未録音のメッセージ番号はスキップし、表示されません。



- 3 **〔セット〕** ボタンを押すと、再生が始まります。音量は、**〔▲〕** または **〔▼〕** ボタンで3段階の調節ができます。



- 4 再生が終わるとメッセージ番号の選択待ちになります。
 * 手順2と手順3の操作を繰り返すことにより、別のメッセージの再生ができます。



- 5 再生を終わるときは、**〔終了〕** ボタンを押します。待機画面になります。



STOP お願い

- 再生中にはメモリーカードを抜かないでください。メモリーカード上のデータが消えることがあります。

ワンポイント

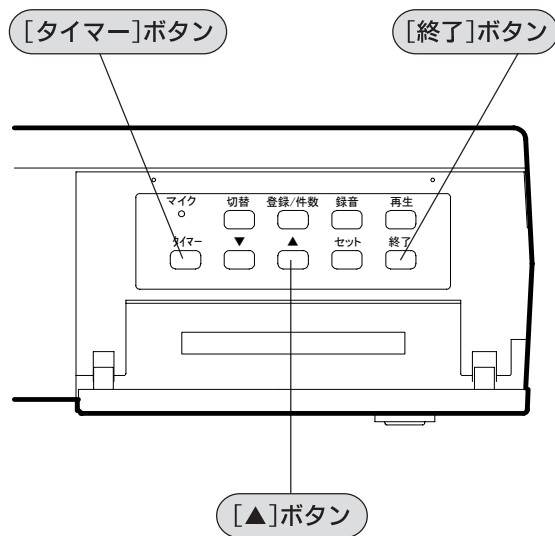
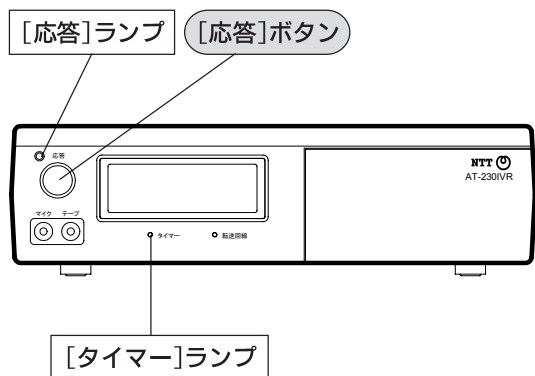
- 再生を途中で終わるときは、**終了** ボタンを押します。手順2に戻ります。
- **再生** ボタンを押したとき、録音されたメッセージが一つもないときは、「ピッ・ピッ・・・」という音が聞こえて再生状態になりません。
- 再生の手順2で、2分以上何もボタンを押さないと、それまでの操作をキャンセルし、待機画面に戻ります。
- 再生中やメッセージを選択するときに、該当のメッセージをデータ入力ソフトで「使用する」に指定していると、画面にマークが表示されます。



使用する際のマーク

日常の運用

年間タイマーによる自動運用



■運用を開始する

- 1 準備
 - [タイマー]ランプが点滅していることを確認します。
 - [タイマー]ランプが消灯しているときは、**[終了]** ボタンを押してから、**[タイマー]** ボタンを押して、[タイマー]ランプを点滅させます。

- 2 **[応答]** ボタンを押します。



- 3 [タイマー]ランプが点灯し、また、[応答]ランプが点灯または点滅します。



応答モードが表示されます。
この場合は、転送専用パターン2を表します。

● 応答中の画面表示



ベル着信があると、点滅します。応答し、メッセージを流しているあいだは点灯します。



応答回線1の着信を転送回線を使い転送しています。

■ 運用を終了する

- 1 **終了** ボタンを押し[応答]ランプを消灯させます。
タイマー ボタンを押し[タイマー]ランプを消灯させます。



● 応答モードの表示

応答モード名	画面表示
選択転送	R1 ... R5
ツリー転送	b
転送専用	c1 ... c5
応答専用	d1 ... d9
停止	--

「停止」の場合は、着信があっても処理をしません。また、「応答」ランプが点滅します。

ワンポイント

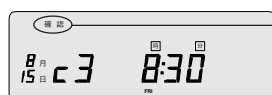
- 処理中の回線があると
メッセージ送付、転送が終わるまで該当回線の処理を継続し、その間、「応答」ランプが点滅します。新しい着信には、応答しません。
- メモリーカードに年間タイマーのスケジュールが書き込まれていない、または、時計を合わせていないときは、「タイマー」ボタンを押しても、「ピッ・ピッ・・・」という音がして、「タイマー」ランプが点滅にならず、タイマーに設定できません。

● [タイマー]ランプについて

- ① **タイマー** ボタンを押すごとに、点滅または消灯になります。
- ② [タイマー]ランプが点滅しているとき、「**応答**」ボタンを押すと、年間タイマーによる自動運用にセットされます。
- ③ [タイマー]ランプが消灯しているとき、「**応答**」ボタンを押すと、マニュアル運用にセットされます。

● タイマーの内容を確認する

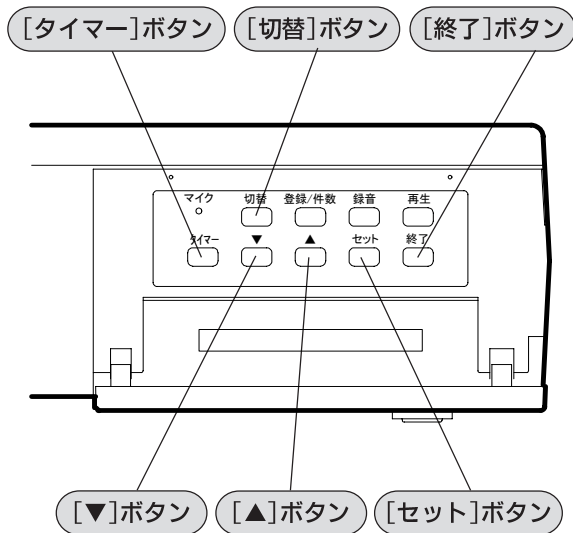
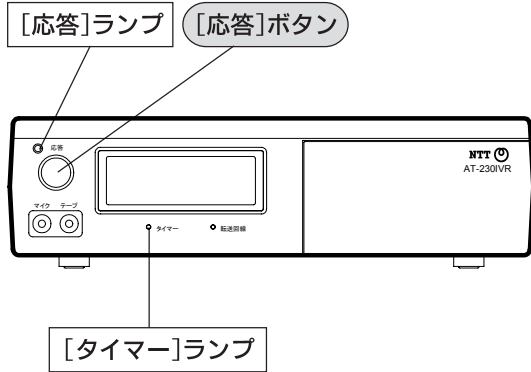
タイマーが稼働中に ボタンを押すと、直前に実行されたスケジュールの内容を表示します。



点滅しています。

- * 8時30分に転送専用パターン3になったことを表示していません。
- * さらに ボタンを押すと、その日に有効なスケジュールがあれば押すたびに表示します。
- * 5秒間ボタン操作をしないと、通常の表示に戻ります。

マニュアル運用



■運用を開始する

1 準備

- ・ [応答]ランプが点灯しているときは、**[終了]** ボタンを押して、[応答]ランプを消灯させます。
- ・ [タイマー]ランプが点滅しているときは、**[タイマー]** ボタンを押して、[タイマー]ランプを消灯させます。

2 応答モードを切り替えるときは、**[切替]** ボタンを押します。

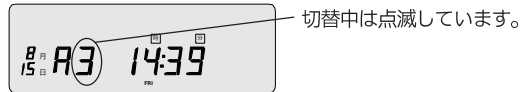
[セット] ボタンを押してモードを確定します。



3 パターンを切り替えるときは、**[▲]** または **[▼]** ボタンを押して切り替えます。

[セット] ボタンを押してパターンを確定します。

* 8秒以内に**[セット]** ボタンを押さないとセットされず、元のパターンに戻ります。



4 **[応答]** ボタンを押します。

[応答]ランプが点灯します。



● 応答中の画面表示

「年間タイマーによる自動運用」の「● 応答中の画面表示《P. 33》」をご参照ください。

● 応答モードの表示

「年間タイマーによる自動運用」の「● 応答モードの表示《P. 33》」をご参照ください。

■ 運用を終了する

- 1 **終了** ボタンを押し「応答」ランプを消灯します。



ワンポイント

- 手順1で**切替**ボタンを押すと応答モードは、次のように切り替わります。
「選択転送」→「ツリー転送」→「転送専用」→「応答専用」→「選択転送」→……
注：データ入力ソフトで該当の応答モードを使わない設定にしてあるときは、**切替**ボタンを押しても表示しません。
- 応答中は応答モードを切り替えることはできません。**終了**ボタンを押して終了させてから、切り替えてください。
- パソコン側で、「使用しない」に設定した応答案内メッセージでも、録音すると該当のメッセージを使って応答専用の応答モードでご使用できます。

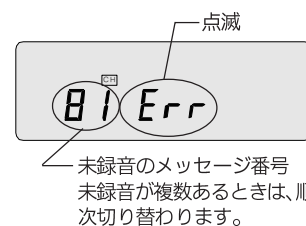
● 処理中の回線があると

メッセージ送付、転送が終わるまで該当回線の処理を継続し、その間「応答」ランプが点滅します。
新しい着信には、応答しません。

ワンポイント

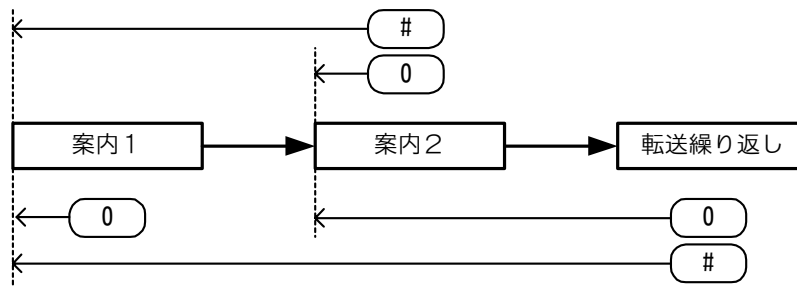
● 必要なメッセージが未録音のとき

本装置を運用するために必要なメッセージが録音されていないときは、年間タイマー／マニュアルに関わらず**応答**ボタンを押したときディスプレイにエラー表示が出て、操作を継続することができません。
該当のメッセージを録音してください。
この例では、メッセージ番号「81」が未録音であることを表示しています。



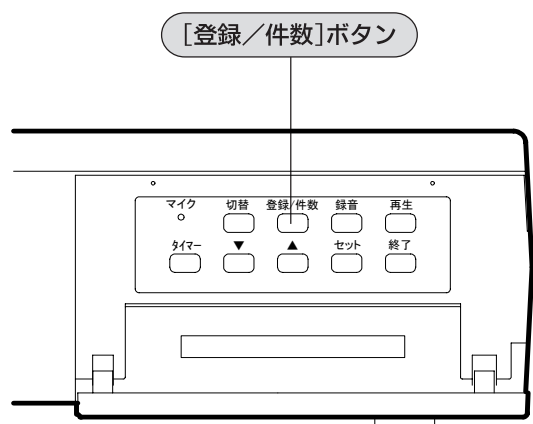
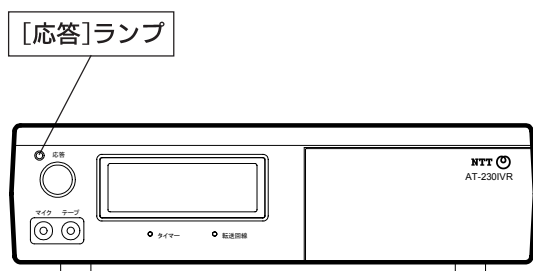
● ツリー案内メッセージを繰り返し聞くには

電話をかけてきた方が、もう一度、前のメッセージを聞きたいときは、次のように、「0」または「#」信号をダイヤルします。転送案内メッセージのときにも、「0」をダイヤルすれば、そのメッセージの冒頭へ戻ります。



履歴データを見る

電話の着信件数や本装置が処理した件数を集計して、本装置またはパソコンの画面へ表示することができます。



■本装置で表示する

●表示方法

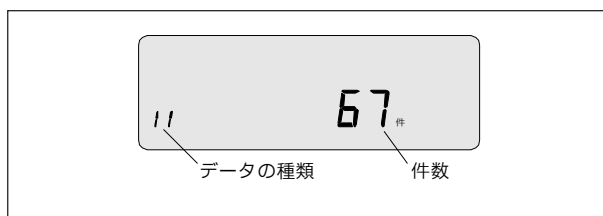
応答ランプが点灯または点滅しているとき

登録/件数 ボタンを押します。

応答ランプが消灯しているとき

1. **登録/件数** ボタンを押します。
*時刻登録の画面になります。
2. もう一度 **登録/件数** ボタンを押します。
*20秒間ボタンを押さないと、待機画面に戻ります。

●表示画面



登録/件数 ボタンを押すたびに「データの種類」が変わります。

11 → 12 → 13 → 21 → 22 → 23 → 表示終了

表示	回線番号	内容
11	1	着信件数
12		転送処理をした件数
13		応答専用で処理した件数
21	2	着信件数
22		転送処理をした件数
23		応答専用で処理した件数

●件数の消去

データ入力ソフトの「カード操作」メニューで、すべての件数を消去する(ゼロにする)ことができます。
くわしくは、画面のヘルプをご参照ください。

■パソコンで表示する

- 1 本装置に装着してあるメモリーカードを抜いて、「CWA-100」に装着します。
- 2 添付の「データ入力ソフト」を起動します。
- 3 「カード操作」→「集計データ」の順にクリックします。

カードのデータをパソコン画面に表示します。

また、データをパソコンにCSV形式で保存することができます。

詳細は、データ入力ソフトのヘルプ画面をご参照ください。

ワンポイント

データの最大値

各データは最大9,900,000件までカウントすることができます。

お願い

- 本装置からメモリーカードを抜くときは「■メモリーカードについて」の「●出し方《P. 16》」の方法に従ってください。
誤った操作をするとメモリーカード上のデータが消えることがあります。

ご参考

■メッセージの構成

メッセージ番号とメッセージ例は次のとおりです。

メッセージ		使用する応答モード				用途	メッセージ例
番号	名称	選択転送 A	ツリー転送 b	転送専用 c	応答専用 d		
1	挨拶	○	○		○	社名などを案内します。	はい、こちらは〇〇株式会社でございます。
2	終了案内	○	○		○	回線を切ることを案内します。	お電話ありがとうございました
3	総合案内	○	○			「挨拶」に続いて流れます。転送することを案内します。	恐れ入りますが、担当の係へおつなぎいたしますので、今から案内するご用件に従いダイヤルしてください。
4	転送先不応答	○	○			選択された転送先が電話にでないことを案内します。	只今、担当者が電話に出ることができません。
5	転送先話中	○	○			転送先が話中であることを案内します。	電話が大変混雑しております。
6	選択繰返	○	○			転送先が正しく指定されなかった場合、再度転送先を選ぶように案内します。	恐れ入りますが、担当の係へおつなぎいたしますので、もう一度今からご案内するご用件に従いダイヤルしてください。
7	転送先未確定終了	○	○			転送先を指定するダイヤルを正常に、受信することができなかったことを案内します。	照会内容が確認できませんでした。恐れ入りますが、照会内容をご確認の上、お手数ですがもう一度お電話いただきますようお願いいたします。
8	転送繰返	○	○			再度、転送先の指定をするよう依頼します。	他の部署におつなぎいたしますので、もう一度今からご案内するご用件に従いダイヤルしてください。
9	転送不出終了	○	○			繰り返して、転送先を指定されたが、いずれも転送できなかったことを案内します。	電話が大変混雑しております。恐れ入りますが、しばらくたつてからおかけ直してください。
10	お待たせ	○	○			転送回線を使った転送をするときに転送中であることを案内します。	只今、おつなぎしております。しばらくお待ちください。
11~15	転送案内	○				選択転送モードで転送先を案内します。	弊社製品を購入される方は「1」を、修理等のサービスをご希望の方は「2」を…、その他のご用の方は「6」を、もう一度メッセージを聞き直すときは「0」をどうぞ
20	ツリー案内1		○			ツリー転送モードの最初の選択方法を案内します。	個人のお客様は「1」を、企業のお客様は「2」を…、もう一度メッセージを聞き直すときは「0」をどうぞ
21~29	ツリー案内 2-1~2-9		○			ツリー転送モードの2回目の選択方法を案内します。	テレビに関しては「1」を、ビデオに関しては「2」を…、その他の製品については「6」を、一つ前のメッセージを聞き直すときは「0」をどうぞ
31~60	ツリー案内 3-1~3-30		○			ツリー転送モードの選択先を案内します。	20インチ以下のテレビに関しては「1」を…、その他の製品については「6」を、一つ前のメッセージを聞き直すときは「0」をどうぞ
61~67	呼出1~7	○	○			信号が正常に受信でき、転送することを案内します。	担当者におつなぎいたしますので、しばらくお待ちください。

メッセージ		使用する応答モード				用途	メッセージ例
メッセージ番号	名称	選択転送 A	ツリー転送 b	転送専用 c	応答専用 d		
68	呼出8 誤選択転送時	○				誤選択の場合で、誤選択の転送先が設定されている場合に、発呼者に転送することを案内します。	〇〇課におつなぎします。
69	呼出9 時間切れ転送時	○	○			時間切れの場合で、時間切れの転送先が設定されている場合に、発呼者に転送することを案内します。	〇〇課におつなぎします。
71~77	着信1~7	○	○	○		転送先が電話にでたときに、本装置からの転送であることを案内します。	〇〇支店のお客様からの転送です。
78	着信8 誤選択転送時	○				誤選択の転送先が設定されている場合に、誤選択であることを転送先に案内します。	転送先を間違われたお客様です。
79	着信9 時間切れ転送時	○	○			時間切れの転送先が設定されている場合に、時間切れ（パルスダイヤルの場合も含む）であることを転送先に案内します。	パルスダイヤルのお客様です。
81~89	応答案内				○	応答専用モードの案内です。	せっかくお電話いただきましたが、只今の時間は、営業いたしておりません。当社の営業時間は……

■転送ができなかったときに流れるメッセージ

転送状態に応じて、下記のメッセージが電話をかけた方や転送先に流れます。

A 転送先が話し中や電話に出ない(不応答)

電話をかけた方に転送先話中メッセージ(メッセージ番号5)または転送先不応答メッセージ(メッセージ番号4)を流します。

転送先の選択が2回以上できる設定(「転送繰り返し回数」が「1」または「2」)になっているとき

別の転送先を選択するように案内をする転送繰返メッセージ(メッセージ番号8)を流したのち、転送案内(選択転送モード)またはツリー案内(ツリー転送モード)を繰り返します。

転送先の選択が1回しかできない設定(転送繰り返し回数が「0」)になっているときや、あらかじめ決めた回数転送をしたが転送できなかったとき

転送先不出終了メッセージ(メッセージ番号9)を流します。その後、終了案内(メッセージ番号2)を流し、電話を切ります。

B プッシュホン信号は受信できたが正しい転送先ではない

転送先の選択が2回以上できる設定(「誤選択繰り返し回数」が「1」～「9」)になっているとき

もう一度転送先を選択するように案内をする選択繰返メッセージ(メッセージ番号6)を流したのち、転送案内(選択転送モード)またはツリー案内(ツリー転送モード)を繰り返します。

転送先の選択が1回しかできない設定(「誤選択繰り返し回数」が「0」)になっているときや、あらかじめ決めた回数選択を依頼しても正しい転送先が受信できなかったとき

● 選択転送モードのとき

転送先未確定終了メッセージ(メッセージ番号7)を流します。その後、終了案内(メッセージ番号2)を流し、電話を切ります。

*電話を切らずに、予め決めた転送先に転送することもできます。

● ツリー転送モードのとき

転送先未確定終了メッセージ(メッセージ番号7)を流します。その後、終了案内(メッセージ番号2)を流し、電話を切ります。

C 転送先を指定するプッシュホン信号が受信できない

● 選択転送モード

転送先未確定終了メッセージ(メッセージ番号7)を流します。その後、終了案内(メッセージ番号2)を流し、電話を切ります。

*電話を切らずに、予め決めた転送先に転送することもできます。

● ツリー転送モード

第1階層のとき

転送先未確定終了メッセージ(メッセージ番号7)を流します。その後、終了案内(メッセージ番号2)を流し、電話を切ります。

*電話を切らずに、予め決めた転送先に転送することもできます。

第2階層以降のとき

転送先の選択が2回以上できる設定(「誤選択繰り返し回数」が「1」～「9」)になっているとき

もう一度転送先を選択するように案内をする選択繰返メッセージ(メッセージ番号6)を流したのち、ツリー案内を繰り返します。

転送先の選択が1回しかできない設定になっている(誤選択繰り返し回数が「0」)ときや、あらかじめ決めた回数選択を依頼してもプッシュホン信号が受信できなかったとき


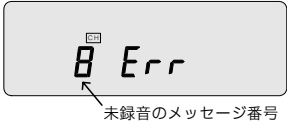

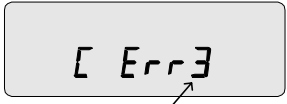
転送先未確定終了メッセージ(メッセージ番号7)を流します。その後、終了案内(メッセージ番号2)を流し、電話を切ります。

■メモ

故障とお考えになる前に

こんなときは	お確かめください	参照ページ
ディスプレイに表示がでない	電源アダプタが正しく接続されていますか	P. 15
ディスプレイに通常とは異なる表示がでて操作ができない	本ページ「ディスプレイのエラー表示と参照ページ」をご参照ください	---
タイマーランプが点滅して、タイマーが稼働しない	応答ボタンは押してありますか	P. 33
時計が止まって、表示が点滅している	停電や電源アダプタがコンセントからぬけるなどで、通電が10日以上止まっていませんか	P. 26
タイマーランプが早く点滅し、「ピッ・ピッ…」という音が聞こえます	年間タイマーのスケジュールを作成してから5年以上経過していませんか	P. 10

■ディスプレイのエラー表示と参照ページ

ディスプレイの表示	エラー情報の意味	参照ページ
	● メモリーカードが入っていません(注1)	P. 16
	● メモリーカードの入れ方が不完全です(注1)	P. 16
	● 本装置で使用できないメモリーカードが入っています(注1)	P. 16
	● 指定した応答モードに使用するメッセージが録音されていません	P. 28 P. 35
	● 機能設定がされていません	パソコンで機能設定をします
	● システムの異常が発生しました。エラー番号をメモされた上、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡ください	---

注1:本装置からアラーム音(「ピピ、ピピ、……」)がでます。[終了]ボタンを押すと止まります。

仕様

■AT-230IVR

項目		仕様
電話回線	応答回線	最大2回線（アナログ回線）
	転送回線	1回線（アナログ回線）
	接続方式	モジュラー接続
	直流抵抗値	280Ω
応答メッセージ	録音媒体	AT-230IVRメモリーカード E-FC〈30M〉
	録音方式	μ-law
	サンプリング	8Bit、8kHz
	メッセージ数	82種類
	総録音時間	約30分
応答モードの種類		選択転送、ツリー選択、転送専用、応答専用
年間タイマー	曜日	15ステップ/曜日
	祝日	1パターン。15ステップ/パターン
	特定日	22パターン。15ステップ/パターン
外部マイク端子	形状	3.5φミニジャック
	インピーダンス	600Ω
	入力レベル	-55dBm
テープ端子	形状	3.5φミニジャック
	インピーダンス	50kΩ
	入力レベル	0dBm
応答出力端子		無電圧メーク出力（接点容量：DC30V、500mA）
応答制御端子		無電圧メーク入力（接点容量：DC10V、10mA以上）
時計精度		月差±5秒（通電時、25℃）
外形寸法		幅260mm × 奥行220mm × 高さ75mm
質量		約1.2kg
電源	電源	AC100V±10V、50/60Hz
	消費電力	最大約7W
	停電時の時計保証	約10日

■CWA-100

項目		仕様
使用可能カード		AT-230IVRメモリーカード E-FC〈30M〉
USB規格		Ver. 1.0
消費電流	動作時：100mA以下	
	待機時：500μA以下	
外形寸法		幅90mm × 奥行110mm × 高さ24mm

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理しますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して装置をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

●保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで装置をお持ちいただく場合は、お客様宅へお伺いするための費用は不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有します。

当社ホームページでは、各種商品の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

（03-5667-7100※） ※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-109217

東海、北陸、近畿、中国、四国地区

（06-6341-5411※） ※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります。

九州地区

（092-720-4862※） ※携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります。

受付時間 9:00～21:00 ※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。



©2003 NITTEAST・NTTWEST

本 2435-3<2007.5>

AT-230IVRトリゼツ

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

P1E002921012R Apr. 2007